

(募集要項) 平成30年度職業能力開発総合大学校教員の採用について「ものづくり計測」

1 採用予定者

(1) 職位・採用者数

助教 1名

(2) 専門分野

「ものづくり計測」

本分野は以下のとおりです。

電子計測分野を専門とし、電子情報分野（計測システム、電子システム、電子回路、情報システムなど）の実験・実習を通じて次代の有能な職業訓練指導員を養成する分野。

(3) 職務内容

職業能力開発総合大学校の教員として、指導員養成訓練、職業能力開発研究学域（修士相当課程）、指導員技能向上訓練、職業能力開発に係る調査研究及び総合課程（学士課程）等の指導業務等を担当する。

2 応募資格

(1) 教員としての要件

次の①から③の全てに該当する方

- ①人格高潔にして、その高い倫理観をもって業務を責任と誠意をもって遂行することができる方
- ②指導員養成訓練、職業能力開発研究学域（修士相当課程）、指導員技能向上訓練、調査研究及び総合課程（学士課程）を担当するに十分な指導能力を有する方
- ③ものづくり教育に関する優れた知識と技能を有し、更に教員として中核的な人材になり得るための業績を積む意志がある方

(2) 助教としての要件

次の①から③の全てに該当する方

- ①修士の学位を有する方
- ②応募する専門分野に関する実務（教育・研究）経験が原則10年以上の方
- ③学位（博士）を取得していない方は、5年以内に取得する意志がある方

(※修士課程及び博士課程は実務経験と見なします。ただし、当機構の規程により実務経験の内容等により応募された職位に該当しない場合がありますので、その場合はご連絡を差し上げます。)

(※上記②の応募する専門分野に関する実務（教育・研究）経験が10年未満の方は、ご相談ください。)

3 待遇

(1) 給与等

①給与

当機構の職員給与規程による。

②諸手当

扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当等

③昇給及び賞与

昇給は年1回、賞与は年2回

④定年等

65歳までの継続雇用（※定年は60歳。定年後は65歳までの継続雇用。）

(2) 勤務場所

職業能力開発総合大学校（東京都小平市小川西町2-32-1）

(3) 勤務時間

8：45～17：00（※1ヶ月単位の変形労働時間制の適用有り。）

(4) 休日・休暇等

完全週休2日制（土曜日、日曜日）（※1ヶ月単位の変形労働時間制の適用有り。）、国民の祝日、
年末年始（12月29日から1月3日）、年次有給休暇、夏季休暇、育児休業制度、介護休業制度等

(5) 福利厚生

健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険等の各種社会保険完備、財形貯蓄制度等

4 応募要領

(1) 応募書類

イ 履歴書（市販のもの、写真貼付）[※本人希望記入欄等に、応募する職位「助教」及び専門分野
「ものづくり計測」を記載してください。]

ロ 卒業証明書等（資格要件を証明できるものであること。）

ハ 卒業した大学の成績証明書

ニ 個人調書（指定様式）

ホ 主要論文別刷り（査読付き筆頭論文、コピー可）

(2) 書類提出先

〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番2号

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 総務部人事課人事第四係あて

※ 職業能力開発総合大学校教員公募と朱書きして、書留郵便にて送付してください。

※ 提出された書類は教員採用の目的以外には使用しません。なお、採用とならなかった場合は返却いたします。

(3) 応募締切

平成29年11月22日（水）当日消印有効

5 選考方法

第2次選考及び第3次選考は、それぞれ第1次選考及び第2次選考の合格者を対象として実施します。
また、第2次選考及び第3次選考に要する旅費等の経費は応募者本人の負担となります。

(1) 書類選考（第1次選考）

上記4の応募書類により書類選考を行い、審査結果及び第1次選考の合格者には第2次選考日程を
記した書面を平成29年12月末頃に投函します。

(2) 面接試験及び模擬講義（第2次選考）

実施日は平成30年1月9日（火）から12日（金）までの指定する日に東京都小平市の職業能力
開発総合大学校で実施します。また、模擬講義の概要は別紙を参照してください。

なお、具体的な日程及び内容については、第1次選考結果に併せてお知らせします。

(3) 幹部面接（第3次選考）

実施日は平成30年2月中旬頃に千葉県千葉市美浜区の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援
機構本部で実施します。

具体的な日程及び内容については、別途お知らせします。

6 採用日

平成30年4月1日

7 お問い合わせ先、提出書類送付先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 総務部人事課 西村、丸山、小山

〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番2号

Tel. 043(213)6124、6126、6127

E-mail saiyou@jeedor.jp

模擬講義「デジタル電子回路実習」の実施について

1 模擬講義について

模擬講義では、下記2の授業項目の「⑤ RS, D, JK フリップフロップ回路の実習」について、実習の事前説明を行う。

(1) 模擬講義内容

- ・パワーポイントを使用し、10分程度の実習内容の事前説明の講義を行い、講義後に質疑応答（10分程度）を行う。

(※①～④までの実習により基本的な組合せ論理回路の設計ができることを前提条件とし、資料を用いてRS フリップフロップ回路の実習を行う際の事前説明を行う。この際、安全作業手順を順守するように説明すること。)

(2) 準備品

- ・事前説明用のパワーポイント資料
- ・学生配布用資料

2 「デジタル電子回路実習」講義例

[授業概要]

デジタル電子回路の基本と動作を理解し、ゲート素子を使用した組合せ論理回路、フリップフロップを使用した順序回路の設計法及び製作法を習得し、デジタルシステムを構築できることを目的とする。

[授業項目]

- ① デジタルシステムの概要と各種測定器の使用法
- ② 基本ゲート回路とド・モルガンの法則の実習
- ③ 一致回路と比較回路の実習
- ④ 半加算回路と全加算回路の実習
- ⑤ RS, D, JKフリップフロップ回路の実習**
- ⑥ シリアル/パラレル変換回路とシフトレジスタ回路の実習
- ⑦ 非同期、同期カウンタ回路の実習
- ⑧ 応用回路の実習
- ⑨ レポート作成、まとめ

[主な使用機器]

直流電源、ブレッドボード、デジタル部品、配線材、テスタ、オシロスコープ、工具一式